

週刊NY生活

www.info-fresh.com/nyseikatsu

NY生活プレス社 NO. 90 (週刊) 2005年11月12日 土曜日

NEW YORK SEIKATSU PRESS, INC. ☎ (212) 213-6069
18 EAST 41st STREET, SUITE 403, NEW YORK, NY 10017

メイプルの小春日和

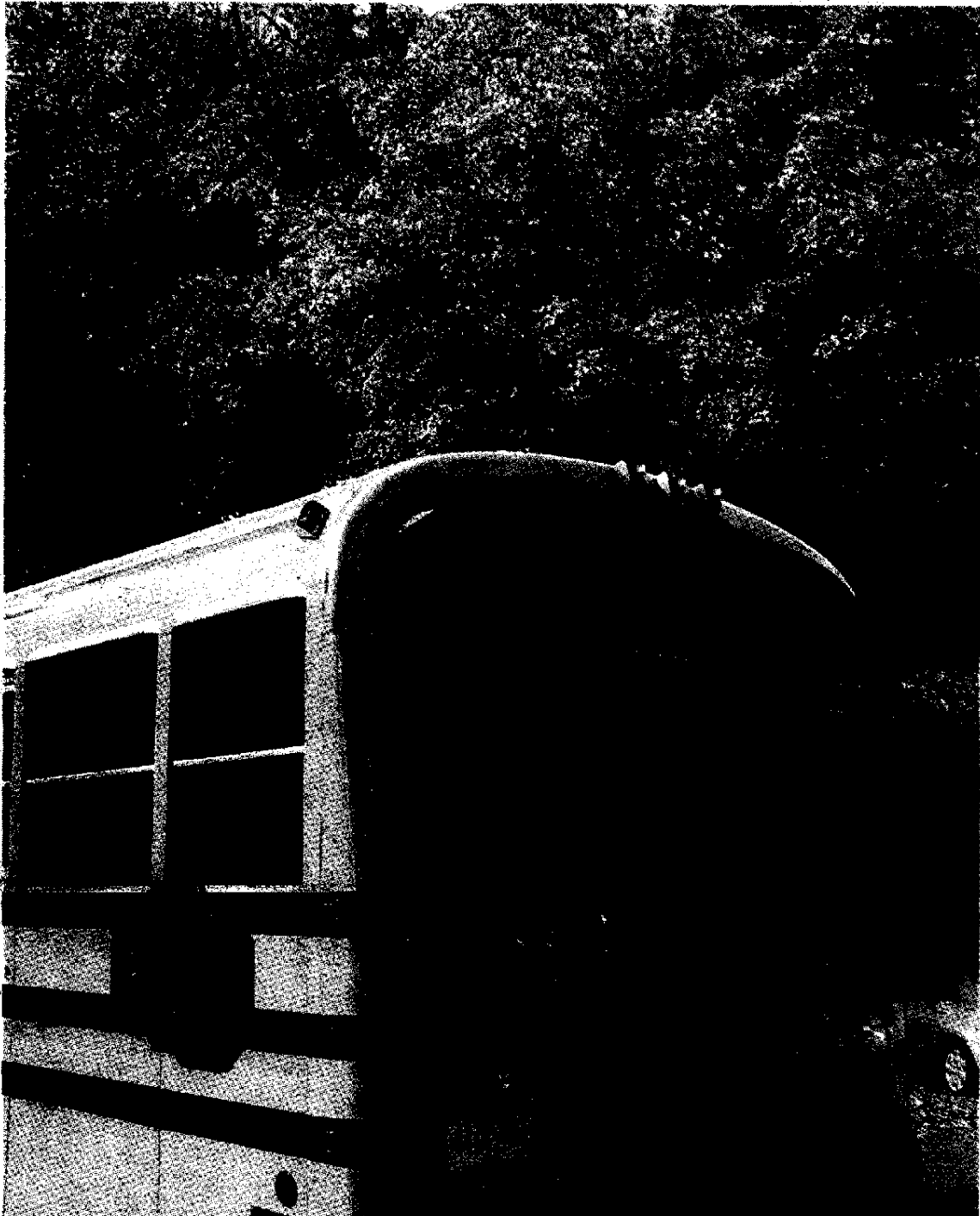
1月上旬穏やかな気候が続いている。ニューヨーク日本人学校の校庭にあるメイプルの木も紅葉が見頃だ。登喜龍一郎校長によると、例年よりもっと燃えるような赤い色に染まるそうだ。財政難から校舎を売却して、売った相手の学校からリースバックして部分貸し、授業を行なうという計画が、保護者に1年近く伏せられて交渉が進められていたことが、今年2月の放火事件で明るみに出た。以来、保護者が校舎売却に猛反対している。

しかし、学校を運営するニューヨーク日本人教育審議会は、校長の反対まで押し切って9月23日に校舎売却方針を決定してしまった。

スクールバスの窓に張られたシールのように、売却交渉の味はペールに包まれていて見えない。今年は、校庭のメイプルも心配しながら葉を落としていくようだ。

(関連記事6面に)

写真・三浦良一



NY日本人学校の校舎売却問題

「リスク大きい現状での共用」

登喜校長が理事に意見書

ニューヨーク日本人学校の登喜龍一郎校長は、同校の校舎売却計画に伴う校長としての意見書を運営母体である教育審議会の理事役員に10月25日送付した。本紙もその意見書のコピーを入手したことから、同校長に新聞紙上での掲載承諾を求めたが、「新聞での掲載は遠慮したい。掲載しないで欲しい」として承諾は得られなかった。しかし本紙編集部で検討した結果、この文章は、今回の校舎売却問題の本質を知る上で公共にとつて極めて重大かつ記録性のある文章であること、すでにPTAのウェブサイトで(www.saveourjapanesehighschool.org)にも掲載公開されていることから紙上で全文掲載することにした。意見書で校長は、教育者としての立場から「校舎売却に伴う現状での共用はリスクが大きい」としている。

2005年10月25日 念でしかたありません。が大勢を占めました。各
 ニューヨーク日本人教育 文部科学省から派遣さ 種意見を添付の通り「派
 審議会理事の皆様 された派遣教員の立場か 遣教員との対話の要旨」
 ニューヨーク日本人学校 ら、教育審議会の決定に としてまとめ上げました
 校長 登喜 龍一郎 したがった形で学校運営 ので、是非、ご高覧願
 を行うことは当然のこと ます。

教育的見地からの学校か ます。保護者と教育審
 らの意見書 決意を受けて教育的見地 議会とのわたかまりがあ
 ます。保護者と教育審
 決意を受けて教育的見地 議会とのわたかまりがあ
 ます。保護者と教育審

「学校長が最終的に賛 同しないかぎり売却を強 行しない」と常日頃坂本 会長は言ってこられたに もかわらず、このたび、 9月23日の理事会の場で 売却リースバック方針を 強行されたことは大変残 念でしかたありません。が大勢を占めました。各
 ニューヨーク日本人教育 文部科学省から派遣さ 種意見を添付の通り「派
 審議会理事の皆様 された派遣教員の立場か 遣教員との対話の要旨」
 ニューヨーク日本人学校 ら、教育審議会の決定に としてまとめ上げました
 校長 登喜 龍一郎 したがった形で学校運営 ので、是非、ご高覧願
 を行うことは当然のこと ます。

会の頑なな姿勢や、保護 視点の配慮が欠けている
 者説明会で坂本会長が のではないでしょうか。
 「PTAから具体的なP T A案が出れば検討す
 る」と言っておきながら 籍の子弟も通っているこ
 教育的観点からは優れて とも考慮すれば、今回の
 いると思われるBAS案 保護者意見を含んでいな
 をいとも簡単に否定して い教育審議会の決定が、
 しまう姿勢には、保護者 日米両国にまたがり将来
 は大変失望いたしており に渡って禍根を残すので
 ます。 はないかという危惧も持
 っております。

文部科学省から日本人 最後に、教育の専門家
 学校は、一国内の小学 として見たとき、保護者
 又は中学校における教育 と教育審議会が対立して
 と同等の教育を行うこと いる現状は、日本人学校
 を目的とする全日制の教 に今通っている、あるい
 育施設」と規定されてい はこれから通う子どもた
 ますが、私たち教職員は、 ちから見ても前代未聞の
 日本全国のどこの小中学 不思議な情景です。子ど
 校とも何ら遜色のない小 もたちの言葉で今回の充
 学校・中学校の卒業資格 却リースバックの是を説
 が取れる学校として、本 明でできるまで練り上げて
 校を誇りに思い、愛し、 最善の教育を行ってきま
 いらないことに、教育者と
 した。そして、優秀な子 尚早なものと同く感じる
 どもたちと保護者の温か いご支援と本校教職員の
 努力によつて、文部科学 現状のまま相手校との
 省のいう「国内の学校と 共用を推し進めることに
 同等の教育」以上の極め は教育的見地から大変危
 険であり、リスクが大き
 持してきたことは明言で すぎることを申し上げ、
 きます。その立場から、 意見書いたします。
 今回の売却決定は教育的 以上(原文まま)